



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社シイエヌエス 上場取引所 東
 コード番号 4076 URL <https://www.cns.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 政英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 猪子 昌俊 TEL 03 (5791) 1001
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	5,717	10.2	546	29.8	570	28.8	415	38.6
2025年5月期第3四半期	5,186	4.1	420	△17.9	442	△16.1	299	△14.5

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 415百万円 (38.6%) 2025年5月期第3四半期 299百万円 (△14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	142.92	—
2025年5月期第3四半期	103.09	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	5,428	4,156	76.6
2025年5月期	5,259	3,959	75.3

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 4,156百万円 2025年5月期 3,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年5月期	—	0.00	—		
2026年5月期（予想）				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細は、2026年4月10日に公表した「通期業績予想の修正（上方修正）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2025年5月期期末配当金の内訳 普通配当 49円00銭 創業40周年記念配当 26円00銭

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,253	17.8	710	27.9	734	25.4	532	24.5	183.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、2026年4月10日に公表した「通期業績予想の修正（上方修正）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社 (社名)、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期3Q	2,906,000株	2025年5月期	2,906,000株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	38株	2025年5月期	38株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年5月期3Q	2,905,962株	2025年5月期3Q	2,906,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の事業環境は、企業のDX投資を背景にIT需要が引き続き堅調に推移しました。一方で、IT人材不足や採用環境の厳しい状況は継続しており、人材確保は引き続き課題となっています。また、生成AI活用をはじめとする新たなIT需要も拡大しており、IT投資を取り巻く環境は引き続き変化しています。

このような環境のもと、当社グループは2030年5月期における目指す姿「『人を想う』事業やサービスを通じて社会的課題を解決し、人や社会、未来に貢献する企業グループ」の実現に向けて、『中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）』を推進しています。基本方針「エンパワーメントの促進とイノベーションの醸成」に基づき、5つの戦略（①事業基盤の強化、②新たな顧客獲得による事業規模拡大、③ソリューションの拡充による市場拡大、④新たなビジネス機会の創出に向けた提案力の強化、⑤社会課題を起点としたビジネスの創出）に取り組み、最終年度における数値目標の売上高100億円、営業利益率10.0%以上の達成を目指しています。

同計画の2年目となる当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,717,663千円（前年同期比10.2%増）、営業利益546,376千円（同29.8%増）、経常利益570,292千円（同28.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益415,318千円（同38.6%増）となりました。

テクノロジーソリューション事業を中心に売上が拡大するとともに、利益率の高い案件の増加により収益性が向上しました。

このような業績進捗のもと、当社グループは中期経営計画に基づき、成長戦略の実行および経営基盤の強化に引き続き取り組みました。

成長戦略への取り組みとしては、ベトナムでICTソリューションを提供するNTQ Solution社とのDX・AI領域における戦略的パートナーシップのもと、技術連携およびサービス提供体制の強化を進めました。

ERP領域においては、オラクルコーポレーションとのパートナーシップを強化し、「Enhanced Oracle PartnerNetwork Level 2」契約および「Oracle NetSuite Alliance Partner」契約のもと、ERP分野における案件創出および事業拡大に向けた取り組みを継続しました。

また、成長戦略を支える経営基盤の強化として実施した本社移転を通じ、創造性・生産性の向上および顧客・パートナー企業との共創促進に取り組み、提案活動の強化や新たなビジネス機会の創出に向けた基盤整備を進めました。

事業別の経営成績は次のとおりです。

当社グループでは、中期経営計画の推進に向け、2025年6月1日付で事業区分の再編を行いました。従来の「システム基盤事業」「ビッグデータ分析事業」「業務システムインテグレーション事業」「デジタル革新推進事業」「コンサルティング事業」を改め、当連結会計年度より以下の3事業に区分しました。

- ・テクノロジーソリューション事業：デジタル革新推進事業、システム基盤事業の一部
- ・ビジネスソリューション事業：ビッグデータ分析事業の一部、業務システムインテグレーション事業、システム基盤事業の一部
- ・コンサルティング事業：コンサルティング事業、ビッグデータ分析事業の一部

なお、前年同期比の増減率は、前連結会計年度の数値を新区分に組み替えて算出しています。

[テクノロジーソリューション事業]

売上高2,608,271千円（前年同期比27.7%増）、売上総利益770,521千円（同31.7%増）となりました。

大型SIer向けの生成AI関連案件が順調に推移したことに加え、次世代決済プラットフォームの新規開発案件が引き続き進展するとともに、既存顧客における体制拡大が進み、売上・売上総利益ともに前年同期を上回りました。利益率の高い案件の増加により、収益性の改善も進展しています。

[ビジネスソリューション事業]

売上高2,585,216千円（前年同期比0.3%減）、売上総利益473,806千円（同9.8%減）となりました。

金融機関向け案件および当社オリジナルサービス「U-Way」に関連する案件は堅調に推移したものの、顧客都合による発注抑制により、売上は概ね前年同期並みにとどまりました。一方で、一部案件の長期化に伴う収益性の低下などの影響により、売上総利益は前年同期を下回りました。

[コンサルティング事業]

売上高524,175千円（前年同期比5.0%減）、売上総利益175,711千円（同18.6%増）となりました。

上流コンサルティング案件へのシフトが引き続き進展したことにより、売上は前年同期を下回ったものの、利益率の高い案件の比率が上昇し、収益性が向上しました。

以上のとおり、当第3四半期連結累計期間においては、テクノロジーソリューション事業を中心に売上が拡大するとともに、コンサルティング事業における収益性の向上もあり、全社として収益基盤の強化が進展しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,428,147千円となり、前連結会計年度末と比較して168,290千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が362,494千円減少したものの、売掛金及び契約資産が145,572千円、新オフィスへの移転に伴う建物附属設備および工具器具備品の取得により有形固定資産が363,132千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,271,304千円となり、前連結会計年度末と比較して29,080千円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が80,300千円、未払法人税等が52,569千円増加した一方で、その他に表示されている未払金が190,686千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,156,842千円となり、前連結会計年度末と比較して197,370千円の増加となりました。これは主に、配当により利益剰余金が217,947千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が415,318千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想は、当第3四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、2026年1月9日に公表した数値を上方修正しました。

詳細は、2026年4月10日に公表した「通期業績予想の修正（上方修正）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,666,604	3,304,109
売掛金及び契約資産	768,188	913,761
棚卸資産	14,904	24,068
その他	55,872	121,156
流動資産合計	4,505,570	4,363,095
固定資産		
有形固定資産	50,015	413,147
無形固定資産		
ソフトウェア	38,939	28,376
その他	40	36
無形固定資産合計	38,979	28,412
投資その他の資産		
保険積立金	267,682	262,942
その他	449,329	412,268
貸倒引当金	△51,719	△51,719
投資その他の資産合計	665,292	623,492
固定資産合計	754,286	1,065,052
資産合計	5,259,857	5,428,147
負債の部		
流動負債		
買掛金	399,402	436,900
リース債務	2,771	1,676
未払法人税等	77,395	129,964
賞与引当金	—	80,300
その他	382,416	176,064
流動負債合計	861,986	824,907
固定負債		
リース債務	5,054	3,982
役員退職慰労引当金	343,181	337,499
退職給付に係る負債	90,162	90,374
その他	—	14,541
固定負債合計	438,398	446,397
負債合計	1,300,385	1,271,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,775	478,775
資本剰余金	434,675	434,675
利益剰余金	3,046,078	3,243,449
自己株式	△57	△57
株主資本合計	3,959,471	4,156,842
純資産合計	3,959,471	4,156,842
負債純資産合計	5,259,857	5,428,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	5,186,754	5,717,663
売上原価	3,928,482	4,297,625
売上総利益	1,258,272	1,420,038
販売費及び一般管理費	837,428	873,661
営業利益	420,843	546,376
営業外収益		
受取利息	1,451	5,609
受取配当金	10,000	6,000
助成金収入	10,240	12,697
その他	1,342	4,112
営業外収益合計	23,034	28,419
営業外費用		
支払利息	171	120
保険解約損	1,014	4,382
その他	29	0
営業外費用合計	1,215	4,503
経常利益	442,663	570,292
特別利益		
投資有価証券売却益	—	46,180
特別利益合計	—	46,180
特別損失		
固定資産除却損	45	—
特別損失合計	45	—
税金等調整前四半期純利益	442,617	616,473
法人税等	143,028	201,155
四半期純利益	299,589	415,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	299,589	415,318

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	299,589	415,318
四半期包括利益	299,589	415,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,589	415,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	30,514千円	51,572千円